

### その価格により入札した理由書

件名： 令和3年度 防災・安全交付金(総合流域防災)砂防工事 (砂)小川川 下伊那郡喬木村 矢筈(機能増進)  
 業者名： 中川建設有限会社  
 住所： 長野県下伊那郡喬木村10068-4

項目	内容
1 その価格により入札した理由	①直接工事費 弊社の施工経験及び現場踏査に基づく当該箇所の施工難易度を勘案し、設計内容を精査したうえで計上しました。 ②共通仮設費 当該工事の現場条件から周辺環境・安全対策に留意し余裕を持って計上しました。 ③現場管理費 工期を確認した結果、冬季施工がない為、経費の削減が可能と判断し計上しました。 ④一般管理費 当該工事及び企業運営に必要な費用を最小限かつゆとりを持ち計上しました。 上記の理由により、当該工事の入札金額を決定した。
2 契約工事に関連する手持ち工事の状況	発注：飯田建設事務所 ・令和2年度 国補道路災害関連工事 (一)大島阿島線 下伊那郡喬木村 加々須2工区 ・令和2年度 2災公共土木施設災害復旧工事 (一)小川川 下伊那郡喬木村 小川大橋上他4 ・令和2年度・令和3年度防災・安全交付金(総合流域防災)砂防(加速化)他工事 (砂)小川川下伊那郡喬木村矢筈(機能増進) 発注：喬木村役場 ・令和2年度 7月豪雨災害復旧工事(河川災害) 基幹林道 大島氏乗線 喬木村 氏乗 ・令和2年度 7月豪雨災害復旧工事(道路災害) 村道716号線 喬木村 富田 馬草田 ・令和2年度 7月豪雨災害復旧工事(水路災害) 喬木村 富田 前澤宅前 ・令和3年度 禍誤除けの滝遊歩道改良工事 喬木村 矢筈 禍誤除けの滝遊歩道 ・令和3年度 喬木村水道事業 災害時用消火栓設置工事 喬木村 村道121号線
3 過去10年間に施工した主な公共工事20カ所の工事名、発注者、工事成績評点	

工事調査様式－1(別紙)

	発注者	工事名	工事箇所	評定点	予定価格	入札金額	落札率%	備考
1	飯田建設事務所	平成26年度 県単 砂防工事	(砂)小川川 下伊那郡喬木村 矢筈ダム	75		3,680,000		見積入札
2	飯田建設事務所	平成30年度 30災公共土木施設災害復旧工事	(主) 下条米川飯田線 下伊那郡喬木村 富田	83		8,900,000		見積入札
3	飯田建設事務所	令和2年度 公共土木施設災害復旧(応急)工事	(一)上飯田線 下伊那郡喬木村 矢筈	-		3,680,000		見積入札
4	飯田建設事務所	令和2年度 防災・安全交付金 災害防除(緊急対策事業)工事	(一)上飯田線ほか 飯田市～下伊那郡喬木村 上村～氏乗(本谷6号)	78	991,000	980,000	98.9	
5	飯田建設事務所	令和2年度 国補道路災害関連工事	(一)大島阿島線 下伊那郡喬木村 加々須2工区	-	138,370,000	130,750,000	94.5	
6	飯田建設事務所	令和2年度 2災公共土木施設災害復旧工事	(一)小川川 下伊那郡喬木村 小川大橋上他4	-		52,100,000		見積入札
7	飯田建設事務所	・令和2年度・令和3年度防災・安全交付金(総合流域防災)砂防(加速化)他工事	(砂)小川川下伊那郡喬木村矢筈(機能増進)	-	44,660,000	41,510,000	92.9	
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

低入札価格調査に該当した工事は、備考欄に「低入調査」を記載。

工事調査表－1 積算内訳書(低入札価格調査通知日の翌日から2日以内及び工事完了後しゅん工届提出時に提出)

積算内訳書

工事名	令和3年度 防災・安全交付金(総合流域防災)砂防工事							
	工種	単位	入札時				工事完成時	
予定価格			当初入札額		最終契約額	最終実績額		
金額(a)			備考	金額(A)	備考	金額(C)	金額(B)	備考
直接工事費		25,180,974		25,180,974			29,696,151	
共通仮設費		3,154,000		2,587,189			3,185,050	
純工事費		28,334,974		27,768,163			35,681,341	
現場管理費		10,163,000		8,336,590			11,186,700	
工事原価		38,497,974		36,104,753			46,868,041	
一般管理費等		6,882,026		5,645,247			7,101,959	
工事価格合計		45,380,000		41,750,000		53,970,000	53,970,000	
消費税		4,538,000		4,175,000		5,397,000	5,397,000	
工事費計		49,918,000		45,925,000		59,367,000	59,367,000	

工事調査表-2 工事費内訳書(低入札価格調査通知日の翌日から2日以内及び工事完了後しゅん工届提出時に提出)

工事費内訳書

工事名 令和3年度 防災・安全交付金(総合流域防災)砂防工事 (砂)小川川 下伊那郡喬木村 矢筈(機能増進)													
工種	入札時												
	予定価格(竣工時に記載)			当初入札額			最終契約額	最終実績額			(b)/(a)	(b)/(a)が0.95~1.05を外れる場合その理由を記入	
	数量	単位	金額	数量	単価(a)	金額(A)	金額(C)	数量	単価(b)	金額(B)			
砂防土工				1式					1式				
掘削工				1式					1式				
掘削				12000m3	221	2,652,000			12000m3	221	2,652,000	1	
残土処理工				1式					1式				
整地				12000m3	202	2,424,000			12000m3	202	2,424,000	1	
土砂等運搬				12000m3	1322	15,864,000			12000m3	1322	15,864,000	1	
法面工				1式					1式				
植生マット									780m2	2,163	1,687,140		増工
農土受け入れ地造成工													
表面排水工				1式					1式				
プレキャストU型側溝				229m	6126	1,402,854							減工
耕土敷き均し工				1式					1式				
積込(ルーズ)				3000m3	205	615,000			3000m3	205	615,000	1	
土砂等運搬				3000m3	358	1,074,000			3000m3	358	1,074,000	1	
防塵対策工				1式					1式				
散水									9日	28,650	257,850		増工
任意仮設工				1式	1,149,120	1,149,120			1式	5,122,161	5,122,161	4.457464	増工
直接工事費				1式		25,180,974					29,696,151		
準備費									1式		1,202,890		
技術管理費									1式		1,290,000		
共通仮設費				1式		2,587,189			1式		5,985,190		
純工事費				1式		27,768,163			1式		35,681,341		
現場管理費				1式		8,336,590			1式		11,186,700		
工事原価				1式		36,104,753			1式		46,868,041		
一般管理費等				1式		5,645,247			1式		7,101,959		
工事価格計				1式		41,750,000			1式		53,970,000		
消費税				1式		4,175,000			1式		5,397,000		
工事費計				1式		45,925,000			1式		59,367,000		















工事調査様式一2(黒字・赤字ともに記入、しゅん工届提出時に提出) 赤字の理由(赤字の場合)

最終実績額(B)(工事費計)←調査表1	59367000円
最終契約額(C)(工事費計)←調査表1	59367000円
落札率(A/a)←調査表1	92.00%
最終実績率(B/C)←調査表1	100.00%
合計額が、 $B/C > 1.0$ (赤字)の場合記入する	

赤字の理由	
-------	--

各様式共通

1. 調査対象者又は受注者は、発注機関の長があらかじめ指定した期日（低入札価格調査通知日の翌日から起算して2日以内及び工事完了後しゅん工届提出時）までに記載要領に従って作成した各様式及び各様式の添付書類を提出しなければならない。
2. 提出期限以降における提出書類の差し替え及び再提出は、認めない。ただし、発注機関の長が記載要領に従った記載とし、又は必要な添付書類を提出するよう教示をした場合は、この限りでない。
3. 各様式に記載した内容を立証するため、各様式ごとに提出すべき添付書類のほか、受注者が必要と認める添付書類を提出することができる（この場合、任意の添付書類である旨を各資料の右上部に明記するものとする。）
4. 調査対象者又は受注者は、資料提出にあたり、紙ベースと電子データ（工事調査様式1～2、工事調査表1～8）により協議し、発注者の確認後すみやかに指定様式をPDFファイルとして提出する。

工事調査様式2 赤字となった原因

1. 当該工事で赤字となった理由を、労務費、手持ち工事の状況、手持ち資材の状況、手持ち機械の状況等の面から記載する。
2. 2. 直接工事費、共通仮設費、現場管理費又は一般管理費等の各費目別に、自社が入札した価格で施工可能な理由を具体的に記載するとともに、各理由ごとに、その根拠となるべき以下の様式の番号を付記する（以下の様式によっては自社が入札した価格で施工可能な理由が計数的に証明されない場合は、本様式又は添付書類において計数的説明を行うものとする。）